

ニュージーランド大自然の旅

ミルフォードトラック・マウントクックの旅

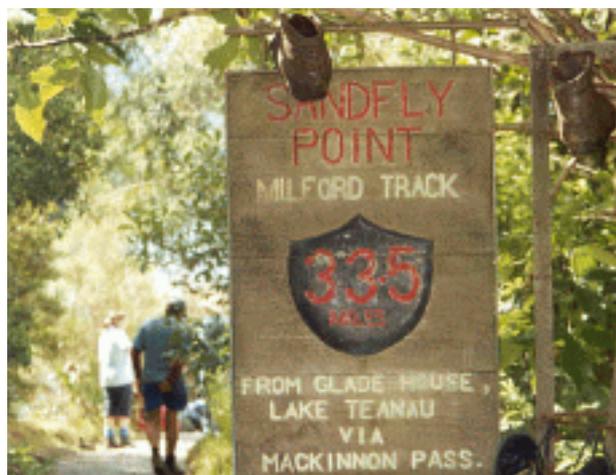
12日間 日々の行動計画

旅行期間 2007年1月22日(月) ~ 2007年2月2日(金)

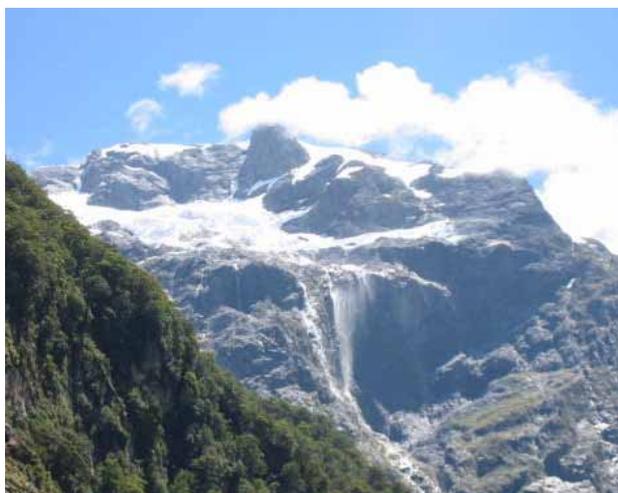
作成 ぎふ長良川走ろう会 武藤 彰
(世界7大陸フルマラソン制覇)



ミルフォードサウンズ



ミルフォードトラック



ミルフォードトラック



マウントクック

1、2007.1.22(月)

名鉄岐阜駅 06:19 (急行) 中部国際空港駅 07:36
竹鼻駅 06:07 笠松駅 06:21、06:24 (急行) 中部国際空港駅 07:36

集合時間：午前7時50分【時間厳守】

集合場所：中部国際空港、国際線3階出発フロア、旅行会社カウンター8-11番『AirLink』看板前
出発前に両替をすませておく。

・ニュージーランドドル 250NZ\$ + 昼食、夕食、タクシー + (飲み物、小遣い、土産 ………)

C X 533 便 名古屋発 10:00 香港着 13:35
C X 117 便 香港発 15:35 オークランド着 07:40(翌日1/23 火)

ニュージーランドの通貨単位は「NZドル」で、紙幣5種・硬貨6種が流通しています。表記：「NZ\$ (NZD)」
「NZ\$」はニュージーランド生息の鳥にちなみ、「キウイ(Kiwi)」とも呼ばれます。
紙幣は全てポリマー(プラスチックのような素材)が導入されるようになり、清潔で長持ちし、偽造がほとんど不可能という特長が挙げられます。ニュージーランドは、オーストラリアほど英国と強い関係はありませんが、20NZドルには国家元首でもあるエリザベス女王が描かれています。
補助通貨単位は「NZ¢」で、1NZ\$ = 100セントで換算します。



硬貨は5・10・20・50NZ¢と、1・2NZ\$が発行されています。



紙幣は、5・10・20・50・100ドルが発行されています。

旅の注意事項

パスポート、現金、航空券

パスポート、現金、航空券は、ベストに縫いこんだ財布、腹巻の中などに入れ、肌身離さず身に着けていること。
ウエストバックやポシェットの中に入れておくと、摺られたり、トイレの中に置き忘れたり、置き引きにあたりして、紛失する恐れがある。

現金はその日に使う分だけ、小分けして持つこと。
また、カメラ、電子辞書など狙われやすいものも首から下げるひもなどで、スリ、紛失に気をつける。
パスポートは写真のページのコピーを持っておく。
クレジットカードは1枚だけの持参とし、番号、有効期限、カード会社の緊急連絡先を控えておく。

病気・ケガ

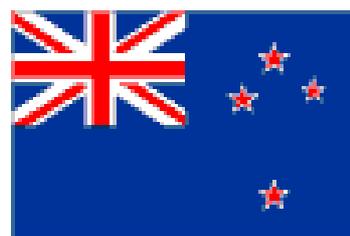
日頃の常備薬(カゼ薬、胃腸薬、頭痛薬)を持参する。
持病が旅行先で発生したときのことを想定し、緊急処置の方法を意識しておく。
加入している海外旅行保険の緊急連絡先などをメモしておく。

また、付帯されているサービス内容を認識しておく。
治療・救援費用、賠償責任、携行品、入院一時金
緊急時の現金の手配、電話による通訳
クレジットカード、パスポート紛失時のサポート

交通事故には、特に注意する。

ニュージーランドから日本への電話のかけ方

国際電話識別番号 00+ 日本の国番号 81+ 市街局番 (0を取る) + 番号
00-81-58-392-8734



ニュージーランド国旗

英国連邦の一員であることを示すユニオンジャックと南十字星を配しています

2、2007.1.23(火) 朝食500円、昼食500円、夕食2000円、タクシー500円 計3500円 44NZ\$

改正C

CX117便 香港発 15:35 オークランド着07:40

オークランド着07:40 **荷物をピックアップし、入国審査、税関審査を受ける。**

通関後、再度国内線に荷物を預けた後、国内線ターミナルに無料シャトルで移動する。

オークランド空港は国際線ターミナル(the International Terminal)と国内線ターミナル(the Domestic Terminal)が離れており、ターミナル間は無料送迎シャトルが運行しています。

*シャトルはターミナル間循環と市内-空港間循環があります。乗り間違えの無い様に注意ください。

国際線でオークランドに到着後、ニュージーランド国内線にお乗り継ぎのお客様は、お預けの手荷物を一度受け取りください。通関後、再度手荷物を国内線手荷物預り所(国際線ターミナル内、the Domestic Baggage Transfer Desk)にてお預けください、無料シャトルにて国内線ターミナルに移動してください。

*日本出発で、同日国内線に乗り継ぎでのお客様は、成田、名古屋、関西の各空港にて最終目的地までの搭乗券をお渡しいたします(日本航空との共同運航便を除く)。

QF4191便 オークランド発 11:15 クィーンズタウン着 13:05

空港からパインウッドまではタクシーで行きます。(シャトルバスより安くて、早い)

タクシー18ドル 所要 約10分 5台必要 4人2台3人3台 6\$/一人

クィーンズタウン空港 Queenstown Airport

両側を雄大で険しい山々に囲まれたクィーンズタウン空港への着陸進入路は、世界で最もドラマチックな経路のひとつです。最近ここを訪れた、アメリカ前大統領ビル・クリントン氏は、「飛行機が空港に近づきその風景が見えた時、機内の全員がため息をこぼした。ただ美しい一言に尽きる。」とその時の感想を述べています。町に近い、湖岸にある郊外のフランクトンに位置するクィーンズタウン空港は、現在改築工事を行っています。

タクシー 約18ドル 所要 約10分

タクシーはターミナルの前から出ています。町の中心街までの所要時間は約10分で、料金は約18ドルかかります。

シャトルサービス 8ドル 所要 約15分

クィーンズタウンにはシャトルバスの会社は3社あります。すべて空港前から出ています。

クィーンズタウンへの料金は約8ドルです。同じ場所へ行く2人もしくはそれ以上のグループは割引を受けることができます。

バス 5ドル 所要 約20分

「ショッパー・バス Shopper bus」は1時間ごとに市内発空港行きと空港発市内行きを運行しています。料金は5ドルです。

ショッパー・バスは、クィーンズタウン市内のいくつかのホテルにも停まります。

Queenstown Pinewood

クィーンズタウン・パインウッド、ロッジ

48 Hamilton Road

Ph 03 442 8273

Queenstown, NZ

Fax 03 442 9470

街の中心から北へ歩いて5分ほどのところにあるロッジ風のホテル。

Pinewoodによろこそ。クィーンズタウンの繁華街の中心まで5分の理想的な美しいアルペン風の素敵なロッジです。

全ての方のお好みに合うよういろいろな店、国際的に有名なレストラン、パブ、バー、クラブがあり、ゆっくりと楽しんで、お過ごしください。ここは、色々なロッジが沢山あり、我々はこれらのロッジの1軒(貸切)に滞在します。

・パインウッド部屋割り

- ・4ベッドルーム ---- 乾、小関、久野、関
- ・4ベッドルーム ---- 北田、松村、上田、今村
- ・5ベッドルーム ---- 高橋、千田、国府、武藤
- ・8ベッドルーム ---- 北田、松村、北村、元山、大竹

・ミルフォードトラック部屋割り 4日間とも

- ・4ベッドルーム ---- 乾、小関、久野、関
- ・4ベッドルーム ---- 北田、松村、上田、今村
- ・4ベッドルーム ---- 高橋、千田、国府、武藤
- ・6ベッドルーム ---- 北田、松村、北村、元山、大竹



パインウッドに着いてから、荷物整理、少し休憩後、明日以降のトレッキング事前説明会に行く。 改正C P 3/12
パインウッド出発 15:00 説明会 チェックイン 15:45 スタート 16:00 日本語説明会 チェックイン 16:45 スタート 17:00
会場 the Ultimate Hikes Centre, The Station Building, Duke Street Entrance, Queenstown

出発前日、ミルフォードトラック・ガイドウォーク (MTGW : Milford Track Guided Walk) の出発地となるクイーンズタウン (Queenstown) で事前説明会が行われた。MTGWのクイーンズタウン事務所がある「ステーション」(Station) という建物の2階で16時から始まると聞いていたのだが、16時に行ってみると日本語での説明会を17時から別に行うとのことで、こちらに参加することにした。

事前説明会では最終日に渡される完歩証に載せるための氏名、それに簡単な質問(「食べられないものはありますか?」など)の答えを配られた用紙に日本語で書いたのち、ミルフォードトラックの行程を簡単にまとめた日本語のビデオを見る。

そしてバンクルームを使う人には山小屋で使うシートが配られた。プライベートルームを使う人には必要ならしい。次に、希望者に大きな番号が入ったザック、防水用としてザックの中に入れる大きくて丈夫なビニール袋、雨具が貸与され、防水加工した地図、ガイドウォークの行程表、食事のメニュー表などをもらう。それで説明会は終了である。

あとはとりにあるショップで地図や帽子、サンドフライ (Sandfly) 対策の虫除けを購入した。ここでは、ほかにも化繊のシャツやタイツ、防寒着、ウォーキングスティック(杖)などを売っている。日本から手ぶらで来てもひと通り揃いそうな感じである。この後歩いて数分のショッピング街に出かけサンドフライよけスプレーやサンドフライよけ&日よけクリームなどを薬局で買った。

レストラン **Finz Down Under** で夕食を取る。フリードリンクあり。明日以降のガイドウォークの壮行会だ!
明日の朝食も買っておく。 早めに就寝し、明日に備えよう。

3、2007.1.24 (水) 1km 約20分 朝食 500円 7NZ\$

起床 6:30 朝食 7:00 (各自部屋でとる) パインウッド出発 8:15 残った荷物はここに置いておく

・部屋割り P 2/12 にあり。

9:30 クイーンズタウン「ステーション」集合
9:45 クイーンズタウン出発(専用バス)
11:00 モスバーンでトイレ休憩(15分)
11:55 テ・アナウ到着ホリデイ・イン・テ・アナウ朝食
13:10 集合写真撮影後、テ・アナウ出発(専用バス)
13:50 テ・アナウ・ダウンス到着
14:00 テ・アナウ・ダウンス出発
15:10 グレイドワーフ到着 トレッキング開始
15:30 グレイドハウス到着
15:45 周辺散策(約1時間30分)
17:30 グレイドハウスのバー開店
18:15 夕食
20:00 親睦イベント、自己紹介、歌の披露
20:40 スライドを使った、翌日の見所の説明
22:00 消灯

08:30 ホテルへをチェックアウト。大きな旅行用の荷物はこのホテルへ預けておき、ザックを肩に徒歩10分ほどのステーションビルへと向かう。我々が一番乗りであったのでバスの前部を独占したため、後からきた日本人や外人さんは後に乗ってバスは09:15に出発するワカティブ湖岸の国道を進み少し山から離れて南下すると牧場が多くなる。もちろんニュージーランドの人口の15倍はいる羊や牛、馬、ヨーロッパ向け輸出用の鹿など広い牧場で放たれている。途中でトイレ休憩したときアイスクリームを食べられる方がいた。12:00にテアナウ到着。ホリデイインにて昼食をとる。早々と我々グループはこれをすませテアナウ湖や商店街に出かける。商店街入り口には飛べない鳥タカへの大きな像があり大塚さんご夫妻が記念撮影。13:00にホリデイインに戻り参加者全員で記念撮影を行うが整列をしてもなかなか始まらない。ここでミルフォードサウンドから来るバスに今回の3人目のガイドCoreyが乗っているため待っているとのこと。少し遅れてバスが到着。日本人グループも10数人いる。先週にはミルフォードトラックに雪が降ったとのこと。写真撮影後バスに乗りテアナウダウンスへ向かう。青空の下テアナウ湖越にはラッシュモア山などが良く見える。およそ40分でテアナウダウンスに到着。ここで双胴船に乗り帰る。

氷河湖でも有るテアナウ湖は岸から数メートル先が300mも落ち込んでいる場所も有る湖で光の加減でグレイシャーミルク色に見えるときもあり森の緑を移して深緑に見えるときも有る。およそ1時間でグレイドワーフ着。上陸前にサンドフライよけのクリームを全員塗っておく。ここよりミルフォードトラックが始まります。全員で標識前での記念撮影後、南極ブナの林の中をおよそ1マイル20分で今夜の宿泊ロッジであるグレイドハウス到着15:35。小屋の周りにはサンドフライが飛び交っている。受け付け後ベッドルームに案内される。我々はコテージでここには8人、6人、4人用の3部屋がありその他には暖炉付の居間、男女別のシャワールーム兼トイレがある。入り口で登山靴を脱ぎ各自持参した上履きに履きかえる。このコテージに日本人の女性個人トレッカーと我々11人合計12人が入る。今夜は男女別のほかにご夫婦は2組同じ部屋に部屋割を行う。部屋には2段ベッドがありバスタオルと石鹸が各々のベッドに置いてあった。部屋に荷物を置きガイド付のネイチャーウォークへ全員出かける。およそ1時間20分森の中の木や植物の説明を受ける。随所に写真入りの案内版があり皆様興味深く歩いておられる。南極ブナも3種類あり、バンブーオーキッド(蘭の一種)やキノコなどを観察し最後にドアパスからの沢でナチュラルミネラルウォーターを飲みロッジに戻った。コテージに戻りシャワーに入ったあと17:30よりダイニングでバーが開く。今回のガイドツアーではジュース、コーヒー、紅茶などの飲み物は無料。ビール、ワインなどのアルコールは有料(最後の宿泊地で精算する)でMr筒井、Mr出石は時間を待ちきれずにビールで乾杯している。18:40から夕食。(昼食時にテアナウで夕食のメインコースを各自チョイスして依頼しておく。)まずポリッジ(穀物のおかゆ)が出る。その後サラダ、ご飯(日本人が多いため炊飯器でいた長いお米) ショーユもある。ポリッジにはブラウンシュガーを入れ食べるのが普通らしいが、ショーユを入れ美味しい美味しいとMrs松原、Mrs白石。メインコースはお肉「リップステーキ」、魚「サーモンフィレ」、ベジタリアン料理の3種からチョイス。デザートはアイスクリーム。ポリウムたっぷりの食事の後19:30よりガイドによるスライドを使っの明日の行程の説明。それから今回の参加者全員での国際親善。各国別の自己紹介と歌の披露。まずオーストラリア人6人、歌は「オーティングマチルダ」、続いてアメリカ8人「ボールゲームに連れていって」(メジャーリーグベースボールの7回裏に合唱する歌)、イギリス4人(たしか6人くらいいたはずなのに)歌は不明、次ぎは我々日本人23人、各自スピーチと自己紹介の後ドリフターズの「いい湯だな」を身振り手振り入りで熱唱する。最後にカナダ人2名が「オーカナダ」カナダ国歌、おまけでガイドさんニュージーランドチーム3人が多分童謡のような歌を歌い終了。この後ピンポン台に場所を移し4人組チームによるUSA対日本のピンポン玉吹きゲームを行う。Mr筒井が我々グループの代表。顔を真っ赤にして頑張るが残念ながら2-0で破れる。やはり男性も女性も日本人の2倍もある身体のせいかと少し納得する。ゲーム終了後コテージに戻る前に数人の人と一緒に前庭に出ると南十字星が見える。今夜も満天の星。22:00の消灯を待たずベッドインする人が多かった。やはりくたびれておられるようだ。

英語で自己紹介し、自分をPRして、明日以降の友好を深めよう!一緒に歌う歌は「静かな湖畔で:ロシア民謡 P.7」です。
知らない人はここで練習しておこう。 <http://www.mahoroba.ne.jp/~gonbe007/hog/shouka/yamanorozaria.html>

6:00	起床
8:00	朝食
8:40	グレイドハウス出発
9:10	赤ブナの巨木
9:15	マッキノン・トゥーマイル・ハット跡
9:30	ウェットランド
10:05	クリントン・ハット
10:50	クリントン・フォークス・ハット跡
12:00	土砂崩れ跡 (Big Slip)
12:25	ヒレレ・シェルター到着 昼食
13:00	ヒレレ・シェルター出発
13:30	First view of Mackinnon Pass
13:40	ヒドゥン湖
14:20	プレイリー湖到着
14:40	プレイリー湖出発
15:20	バス・ストップ・シェルター
15:30	ポンポローナ・ロッジ到着
17:30	ポンポローナ・ロッジのバー開店
18:20	スライドを使った、翌日の見所の説明 (約10分)
19:00	夕食
22:00	消灯

今日のランチのサンドイッチを各自食堂で作る。ハム、ソーセージ、スクランブルエッグ、レタス、トマトの具をチョイスして適当な大きさにカットしてラップで包み、オレンジ、リンゴ、バナナやお菓子類の紙袋に詰め終了。08:00より朝食08:55 ロッジを出発する。今日は各自のペースでポンポローナロッジまで行くことにする。クリントン川の吊橋を渡り左岸のシダとブナの林を進む。良く整備された道で歩き易い。4.4 km地点の左に少し入ったところに個人トレック用のクリントンハットがありトイレに立ち寄り。ミルフォードトレッキングはウルティマハイク主催のガイドツアー(大名旅行とも言える)とDOCの持っているハットを3泊する個人トレックの2つのコースがある。こちらも定員48名で寝袋と食器、コップ、食糧は各自自分で運ばなければならない。(私は6年前に雨の中歩いた。シャワーも無く雨の中を歩くとボトボトになり寒い。)ガイドツアーのロッジとDOCのハットはおよそ5 kmくらい間隔があり、双方のトレッカーが一緒にならないように配慮してある。トラックに戻りクリントン川に沿って歩く。今日も快晴。朝は6度くらいの気温であったのだが昼頃より暑くなってきた。クリントン川の左俣の奥には雪を冠った山々が広がる。クリントン川には50~60 cmもあるうかというレインボートラウトや1mを越す大ウナギが悠然と泳いでいる。ライセンスを街のウポーツ店で買えば1人3匹まで持ち帰ることが出来るそうで、フライフィッシングの竿を持参のトレッカーも少しはいるようだ。11.9 km地点がヒレレ滝のランチハウス13:30着。我々が最後尾になったようだ。Hollyが最後から歩いてくる。ランチハウスにはCoreyとSimonが先行してスープと温かい飲み物を準備してくれている。持参したサンドイッチで昼食をとる。皆さんモクモクと食べている。ここにケアが来る。ケアはオオム的一种でグリーン色をしている。曲がったクチバシ、広げると背中に鮮やかな赤い羽根がある。

これが大変な奴でその鋭いくちばしでザックに穴を空けたり、食べ物を掠め取る用心しなければいけない。我々が出発する頃を見計らってパンくずをあさりにきたようだ。昼食後トイレをすませ14:00に出発する。少し進むと野原に出る。ここで明日越えるマッキノン峠が遠望できる。ヒドンレイクでは1000mを越える滝がいくつも懸かっている。今までの平坦な道から少し傾斜が出て森の中に入ると飛べない鳥ウエカが林の中に見える。沢を渡りバスストップという避難小屋を過ぎるとやがて今夜のねぐらのポンポローナロッジに着く。15:40着。今日の行程は16.1 km標高差は200mくらい。ゆっくり歩いておよそ6時間30分の歩行でした。入り口にはアフタヌーンティーが用意されている。ここのロッジは斜面に立てられていて左右3部屋の6人用ベッドルームの真中に男女別シャワー兼トイレルームがある。これが2棟と2人用のスイートルームもあった。最下部に食堂とダイニングその左手に洗濯の洗い場と乾燥室がある。ほとんどの人がシャワーを浴びた後、洗濯をし乾燥室に干したようだ。17:30にバーがオープン。Mr筒井はビールをぐいぐい。昨日は4本で本人いわく「トレッキング中は20本くらいを予定とのこと」水代わりようです。マッキノン峠の下にあるこの小屋はケアが廊下をウロウロしているため靴は部屋の中に入れておくことになっています。部屋も外から鍵をかけるようになっているのは、部屋に人がいないとケアがとびらを押し明けて入ってきて部屋の中を荒らすそうです。夕食は19:00。その前にスライドを使い明日の行程の説明。今夜はチキン、パスタ、ベジタリアンメニューよりのチョイス。Mr新開は毎晩ニュージーランドの白ワインを1ボトル晩酌。しかし本当にワインは美味しい。食事後男性陣はダイニングに集合。日本より持参の焼酎のお湯割を楽しむ。ガイドのCoreyに勤めるが匂いをかいでなかなか飲まないで減量が麦と言うとちびりちびり舐めている。海苔巻おかきはデリシャスといってくれる。22:00消灯。廊下とトイレには非常灯が点くが部屋は明かりが無いため懐中電灯を全員持ってきている。ポンポローナは谷底のため南十字星は見えない。



ニュージーランドの水道水は飲んでも安全ですか？

ニュージーランド各地の都市、町には、しっかりとした給水設備があり、安心して水道の水を飲むことができます。しかし、川や湖の水をそのまま飲む場合は、煮沸、化学薬品による消毒、または、浄水フィルターで過処理を行いましょう。

5:30	起床
6:50	朝食
7:25	ポンポローナ・ロッジ出発
7:35	ポンポローナ・クリーク
7:50	View of St. Quintin Falls
8:50	ミンタロ・ハット
8:55	ミンタロ湖
9:05	クリントン川吊り橋
9:15	ジグザグはじまる
9:50	15マイル・ペグ
10:40	マッキノン記念碑到着
10:55	マッキノン記念碑出発
11:35	パス・ハット到着 昼食
12:15	パス・ハット出発
12:50	エマージェンシー・トラック分岐
13:20	モレーン・クリーク
13:25	マーガレット・フォールズ
13:40	ロアリング・バーン吊り橋
14:15	ダドレイ・フォールズ
14:30	リンゼイ・フォールズ
14:45	クインティン・ロッジ到着
15:05	クインティン・ロッジ出発
15:10	ビーチ・ハット
16:00	サザーランド・フォールズ 滝下到着 滝裏へ
16:30	サザーランド・フォールズ出発
17:30	クインティン・ロッジ到着
19:30	夕食
20:30	スライドを使った、翌日の見所の 説明 (約10分)
22:00	消灯

今日がこのトラックのハイライト。マッキノン峠越し。06:15起床。06:30にサンドイッチ作り。06:45朝食。今日は一番の登りのため我々はパーティを組んで歩くこととする。今日こそはと07:30に出発とするが、ストレッチングをしている間に一番後ろになってしまった。歩き出してすぐウエカの親子を見る。マウンテンリボンツリーやコロミコの花が咲いている。少し登りになり標高差180mを登ると21.7km地点のミンタロハットに09:10着。トイレをすませる。ミンタロ湖を過ぎるとクリントン川の最後の吊橋を渡る。

ここよりマッキノン峠のアルペンメモリアルまで11回のジグザグの登りとなる。8段目を過ぎると森林限界の上に出、マウントクッククリリーの葉っぱ(11月~12月にかけ大きな白い花が咲く)マウンテンデイジーの大きな花のほかツメキリ草のような白い花や小さな黄色いタカネニガナのようなキク科の植物も見つけられる。クリントン川源頭の氷河で磨かれた障壁と同じ高さになって池塘のある標高1070mのクリントン峠に11:15到着。

最後は少し隊列が開いたがほぼ同時に峠の記念碑に着いた。この記念碑にもケアが2匹上にいる。全員の記念撮影の後20mほど離れた13秒地点に移動し休憩する。この地名の由来は眼下に見える今夜の宿泊ロッジクインティンロッジまで飛び降りると13秒で着くということであった。周囲の山並み、大障壁、氷河、ミルフォード谷、通ってきたクリントン谷など360度のパノラマが広がる。一息入れた後は池塘の間を縫って、マッキノン峠の頂上1154mへ向かう。先週の雪が所々に残っている。ケアも我々と一緒にマッキノン峠のランチハウスへ移動中。25分でランチハウス到着。

この小屋のみがDOCの個人トレッカーと同じ小屋(中は2つに区切られている)になっている。ミルフォード谷のクインティンロッジからスタッフが2人上がってきて飲み物のサービスをしてくれる。

天気がいいので小屋の外で食事をする人が多い。しかしここでもケアが大活躍。ちょっと目を離したすきにイギリス女性の昼食の紙袋をあさって持っていきかけている。Mrs古泉とMr出石は小屋の周りの雪を集めてきて手に乗せて「冷たい」と言いながら記念撮影をしている。この小屋のすぐそばには「世界で一番美しい散歩道」を一望できる「世界で一番美しい景色を見れるガラス窓付のトイレ」がある。Mrs緒方、Mrs松原、Mrs大塚、女性陣こぞって体験をしたようだ。もちろん私も。(実はポットトイレ)12:40出発。左の斜面を大きく迂回しながら氷河圏谷をヒドンバレイへ下りて行く。途中で沢を渡ると標高750mあたりで樹林帯に入る。これからヒドンバレイ沿いに付けられた木製の階段を幾つも下る。途中には20~30mの滝が続く。どんどん降りていき「まだかまだか」と言っているとクインティンハットの前の吊橋に出る。橋を渡るとすぐ今夜の宿泊地クインティンへ着いた。

15:30。ロッジに荷物を置き世界8番目の落差を誇るサザーランド滝へ往復する。滝まではおよそ40分。轟々と音がなって3段の滝である。ここでMrs新聞、Mr新聞、Mrs古泉、Mr筒井、と私の5人がレインウエアに身を包み滝の裏側へと行く。沢を渡り滝の裏側に廻りこむが思ったほど飛沫は当たらない。10mほど先を落ちていたためか。雨具以外濡れなかった。ロッジに戻りシャワー、洗濯を終えると夕食が始まる。今日のメインコースは羊肉のロースト、白身魚のフライ、ベジタリアンメニューの3つよりチョイスする。なお夕食のチョイスは前日の夕食時又は出発前の朝食の時にロッジで申し込むと当日の夕食のメニューとなる。飛行機で寝不足であったMrs古泉も調子が出てきたようだ。夕食後最終日のコースの説明。いつもながらガイドのCoreyの話す口ぶり(少し詰まりながらユーモラスにしゃべる)それにちゃちゃを入れるからだの大きなアメリカ女性、掛け合い漫才のようだ。食後皆が部屋に戻った後いつも通り、男性陣はお湯割で一息。ここで持参した「いいちこ」が無くなった。外国陣はギターを弾き歌をコーラスしている。緩やかにミルフォードの夜はふけていく。今日の行程18.9km標高差登り820m下り930m。今日まで快晴の日が続いたが明日からフィヨルドランド地域は天気が崩れるようだ。

6、2007.1.27 (土) 21km 6-8時間

5:30	起床	13:45	ジャイアントゲート・フォールズ出発
6:30	朝食	14:30	ドウボーイ
7:40	クインティン・ロッジ出発	15:30	サンドフライ・ポイント到着
8:40	ダンプリン・ハット	16:15	サンドフライ・ポイント出発
10:15	ボートシェッド到着	16:30	ミルフォードサウンド棧橋到着
10:30	ボートシェッド出発	16:35	マイターピーク・ロッジ到着
10:40	アーサー川吊り橋	18:30	ミルフォードトラック完歩証の授与式
11:00	マツカイ・フォールズ	19:00	夕食
11:50	ポセイドン・クリーク吊り橋		
12:30	ロッキー・カッピング		
13:15	ジャイアントゲート・フォールズ到着昼食		

起床この時間になると電気が点く。少しすればお湯がでる。各ロッジは自家発電で電気給湯器を使っているため電気が点いて少ししてからシャワーが使えるようになる。

いつものように昼食のサンドイッチ作り。06:50 朝食をとる。

ここで最後の行程に不必要な荷物(特に出発前に各自に配られたロッジで使ったシート)を今夜の宿泊地のマイターピークロッジへ飛行機で運ぶサービスがあるため(1ヶ20NZ\$) 荷物を仕分けして預ける。

雨は降っていない。07:30 ストレチング後出発。今日は各自のペースで歩くことにする。

最初の行程と同じでブナの林にシダ(シダが大きくなり木になっている物もある)の中を歩く35.4 kmのDOCのダンプリングハットでトイレ休憩。やはり我々が最後尾のようであったが、ここでアメリカ人女性のLindaを追い越す。昨晚数人の人が足の治療をガイドのCoreyとSimonにしてもらっていた。足が痛いようだ。しかしご主人と一緒に歩いていない。個人主義かなと思うが少しおかしいのか。40.9 km地点にモーニングティーハウスのポートシェッド小屋がある。ここの小屋が一番サンドフライが多かった。古い舟小屋を使っている。Coreyが先行してお茶のサービスをしてくれる。

今日は昼食時のサービスは無い代わりにモーニングティーのサービスということであった。多分今日の行程が一番長いので我々を急がせるためであろう。10:35 マックイ滝到着。かなりの水量を持つ神秘的な滝である。この横にベルロックという岩屋がある。ベルバードの鳴き声を聞きながら右岸を進む。Mrs大塚がクルブシが痛くなったようだ。12:48に48.0 km地点のジャイアントゲート滝のランチハウスへ着く。ここでMr 出石の鼻緒サンダルを借りワラジのように紐を結び歩くことにする。

13:10 出発。ジャイアントゲート滝の前の長い吊橋を渡り歩く。Mrs大塚はずいぶん楽になったようだ。

アイダ湖を右下に見てなお歩くと14:40に最終地点54.0 km地点のサンドフライポイントの小屋に着いた。Mr 新開は快調に飛ばし我々より1時間以上も早くついたということであった。今日の行程21.8 km 標高差下り150m。33.5マイル標識が最終地点でここには使い終わった靴がぶら下げてあった。「4日間58 kmの行程参加者の皆様お疲れ様でした。」

15:15 船で出発およそ20分でミルフォードサウンドの船着場に着く。(後から外国勢8人ほどが16:00発の船で遅れて着いた。)バスにて今夜の宿泊地のマイターピークロッジについた。ここはミルフォードのロッジとは違いバスタブ付のホテルであった。入浴後ダイニングでくつろぐ。18:15よりミルフォードトラックの完歩証の授与のセレモニーがあり、参加者の全員がガイドより完歩証をもらった。18:45より最後のディナー。今日はバイキング形式。残念ながらご飯は無かったが、ローストビーフ、スモークサーモンなど魚、肉、野菜、ケーキ、アイスクリームなど堪能して夜はふける。

「日本に帰ったら2~3KGは体重は増えているかも」(これは現実となった)。Mrs大塚はハワイに戻るJullyから木製のトレッキング杖をプレゼントされていた。皆様おのおの国際親善をすすめられている。

7、2007.1.28 (日) ミルフォードサウンド 遊覧クルーズ

- 7:30 朝食
- 8:30 マイターピーク・ロッジ出発
- 8:45 ミルフォードサウンド 棧橋集合
- 9:05 ミルフォードサウンド・クルーズ
(約 1時間40分)
- 10:50 ミルフォードサウンド 出発
(専用バス)
- 11:15 ホーマー・トンネル通過
- 12:00 ノブズ・フラット到着
(15分休憩・車内で食べる昼食を配る)
- 13:00 テ・アナウ到着 (15分休憩)
- 13:15 テ・アナウ 出発 (専用バス)
- 15:45 キーンズタウン 到着 解散

夕食 2000円 25NZ\$

朝食後バスで船着場へ移動。ミルフォードサウンドの2時間クルーズに出発。09:00乗船。フィヨルドの海を進む。今日は風が強く、滝から落ちてきた水をコップにすくい飲めるといふ滝も近づく無かった。海に直接落ちるポーエン滝、アザラシのいるシールロック、岬を廻ると急に波が強くなるとタスマン海に出る。戻って来る際イルカが船の曾そばを泳いでいる。11:00に船着場に戻る。バスに乗り換えホームートンネルを抜け途中で1回トイレ休憩。ここでサンドイッチの昼食が配られる。天候は急速に回復し青空も見えてくる。テアナウ着13:00。ここで続けてルートバートラックを歩く日本人グループが下車する。バスの前でわいわいがやがやと記念撮影。ガイドのSimon,Hollyもここでお別れ。彼らはここで今日出発するツアーのガイドをする。オーストラリアのごつい女性からハグをしてもらった。13:20テアナウ発。毛を刈られたばかりの1/3のボリュームになった羊の群れを見ながら出発地クィーンズタウンに戻った16:00。Cophthorn lakefront Hotel にチェックイン。そろそろお土産を買う必要があるとのことで荷物を部屋に置き街へ出かける。有名なカトマンズという山の専門店に行くが17:00閉店のため(金曜日は20:00まであとは10:00~17:00)われわれが入ったと同時に表にCloseの看板を掲げた。あまり品数は多くなく、オリジナルの商品が多く見えたが15分の滞在では無理かな。Mrs大塚はお土産をいれるためのザックを買い求めていた。この後免税店に向かう。Mrs緒方、Mrs古泉、Mrs新開は隣の手芸店に入り、各自お土産を買われた。夕食会場のポブスピークまで迎えるバスがきてゴンドラ乗り場へアシストしてくれる。今日はスカイラインレストランも満杯でバイキング会場も一杯。食事後20:45に下りのゴンドラに乗りバスにてホテルへ戻る。

解散後、パインウッドに戻り、休憩。

18:00時から夕食に出発、無事ミルフォードトラックトレッキング、完踏おめでと、祝杯をあげましょう。

レストラン Finz Down Under で夕食を取る。フリードリンクあり。

明日のバス乗り場を確認する。 明日の朝食を購入する。

8、2007.1.29 (月) 朝食500円、昼食500円、夕食2000円 計3000円 38NZ\$

起床 6:00 朝食 6:30(各自部屋でとる) パインウッド 出発 7:15

クィーンズタウン 定期バス NM9552 8:20am オマラマ 10:40am (20分トイレ休憩) マウントクック YHA 13:54pm
マウントクック YH 泊

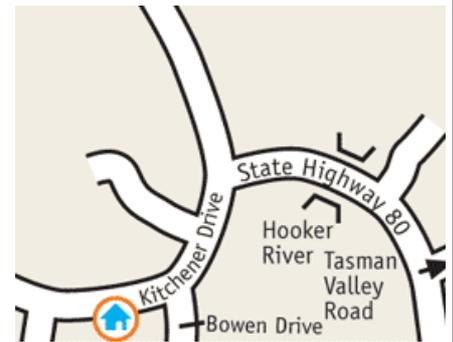
Cnr Bowen & Kitchener Drives, Mt Cook

TEL: +64 3 435 1820 Fax: +64 3 435 1821

マウントクック YH チェックイン後、自由時間(付近散策、散歩、洗濯など)

夕食は Chamios bar にて食べる。ビール、ワイン、飲み物など無料サービスです。

Cnr Bowen & Kitchener Drives, Mt Cook
 Phone: +64 3 435 1820
 Fax: +64 3 435 1821
 Reception Hours: Summer: 8am-9pm
 Check out time: 10am



・部屋割り

- 1 x twin bunk - 2 beds ---- 北田夫妻
- 1 x twin bunk - 2 beds ---- 松村夫妻
- 3 x double/single 2 beds----- 久野 - 関、乾 - 小関、今村 - 上田
- 1 x family room 3 beds----- 大竹、北村、元山
- 1 x 4 bedded dorms - ----- 高橋、千田、国府、武藤

場所の良さに加え、設備も非常に良く、ニュージーランドで最も人気のあるユースホステル。
 朝食、夕食はありませんが、食料品などを購入するための小さな食料雑貨店があります。もし、料理したいならば、完全に大きな台所も備えています。夕食はレストラン **Chamios bar** にて食べる。ビール、ワイン、飲み物など無料サービスです。

9、2007.1.30 (火) **朝食 500 円、夕食 2000 円 計 2500 円 32NZ\$**
 起床 6:45 朝食 7:15 (各自部屋でとる) ユースホステル出発 8:00

- 9.00am Hermitage Activities Desk を出発する
 約7時間、そのうち4-6時間は山道を歩く (約 8 km)
- 3.30pm Hermitage に戻ってくる

マウントクック山行はフッカーバレーを歩く1日ガイド付きウォークで、ニュージーランドの最も高く最も目が離せないピークのいくつかの息をのむような景色を提供します。あなたの1日はハーミテージホテルのActivities Deskで始まります。ここから、我々は送迎コーチによってホワイトホースヒル野営地に向かいます。
 フッカーグラシアのターミナルの湖に、よく整備された歩道に沿って素晴らしい4kmの山行を楽しんでください。Aoraki クック山の南斜面と周囲の氷河の素晴らしい展望を眺めながら、登山者はアルペン Memorial や、swingbridgeによって荒れ狂うフッカー川の上を通過します。あなたがニュージーランドの、そして、オセアニアの最も高いピークの影で昼食を楽しんで下さい。ガイドはこのアルペン世界のユニークな景色を説明します。そして、あなたは3,754メートルのところ立っています。我々は、同じ歩道に沿って帰ります。いくつかの短い散歩道がマウントクック村のまわりにあります。もしご希望でしたらガイドがあなたを森の茂みの散歩道にご案内します。Aoraki クック山国立公園は歩行者のパラダイスです。

夕食まで自由時間 夕食は昨日と同じ **Chamios bar** にて食べる。ビール、ワイン、飲み物など無料サービスです。

10、2007.1.31 (水) **朝食 500 円、昼食 500 円、夕食 2000 円 計 3000 円 38NZ\$**
 起床 7:30 朝食 8:00 (各自部屋でとる) ユースホステル出発 13:00 午前中は自由時間 付近散策など

- マウントクック YHA 13:55pm クライストチャーチ 6:45pm 定期バス NM9552
- クライストチャーチ シティ セントラル・YHA 泊 (朝食付)

Christchurch City Central YHA
 クライストチャーチ シティ セントラル・YHA

273 Manchester Street
 Christchurch,
 South Island, New Zealand
 電話: +64-3-379-9535
 ファックス: +64-9-379-9537
 e-mail: yhachch@yha.org.nz



部屋割り：朝食付き

P 8/12

改正 A

改正 C

- ・4ベッドルーム ---- 乾、小関、久野、関
- ・4ベッドルーム ---- 北田、松村、上田、今村
- ・4ベッドルーム ---- 高橋、千田、国府、武藤
- ・5ベッドルーム ---- 北田、松村、北村、元山、大竹

特徴：クライストチャーチの市中心部に位置し、現代的な設備を誇り、サービスの良いフレンドリーなスタッフがいるクライストチャーチ シティ セントラル YHA。

どこへ行くにも歩ける距離にある便利なロケーション。2階建てのクライストチャーチ シティ セントラル YHA ではインターネット、e-mail も利用できます。

受付は午前8時から午後10時まで。それ以外の時間帯に到着する場合で、予約が必要な場合には、どうぞ直接一報してください。クライストチャーチの見所：ニュージーランドで一番活気ある明るい街、それがクライストチャーチ。様々な無数のアトラクションを楽しめます。アトラクションだけでなく、アイリッシュ風パブの SULLIVANS や、スポーツ パー SNEAKERS など気軽に入れる人気のバーやカフェも充実。世界中の食べ物が集まるクライストチャーチではグルメ達も満足するレストランが多く集まり、どこも YHA から徒歩の距離にあるのが魅力です。少し離れていても無料のシャトルバスが利用できるのも便利。

大聖堂広場では名物の大道芸人、魔法使いが道行く人を楽しませてくれます。 国際南極センターへは、大聖堂広場からバスに乗車できます。クライストチャーチの街とサザンアルプスの眺めを望みたいのなら、クライストチャーチ ゴンドラへどうぞ。インフォメーション センターから無料バスを運行しています。ポート ヒルズが一番高い所からは、死火山のクレーターであるリトルトン港から北にはカイコウラまでが見渡せます。クライストチャーチは見所たくさん、いつでも、何でもできる魅力のつきない都市です。

その他サービスなど：

- ・インターネット設備あり
- ・食物など販売する売店あり

夕食はレストラン Oxford on AvonのRiverview Buffet Restaurant にて食べる。ピュフェスタイルの夕食。ビクトリアスクエアとエイボン川の眺めが素晴らしい Senior & Group special discount 19NZ\$

11、2007.2.1（木） 朝食500円、昼食500円、タクシー100円、1000円 計3000円 38NZ\$

起床 6:30 朝食 7:00 (YHのレストランにて) ユースホステル出発 8:00

大聖堂、エイボン側、追憶の橋
ビクトリアスクエア、ハグレー公園
など散策

クライストチャーチ空港までは、
約11kmあります。
エアポートシャトルバスで行く。

バス 2.70ドル、所要 35分

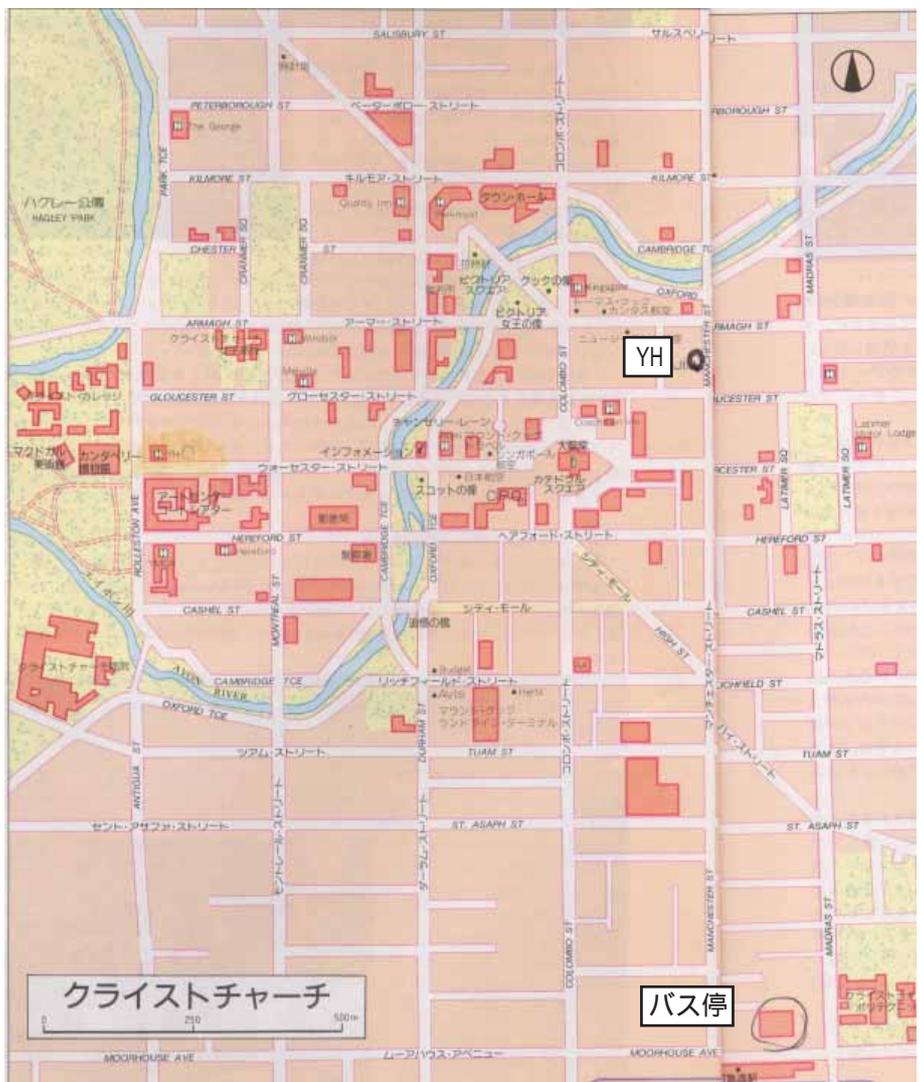
空港とクライストチャーチ市内間のバスは30分ごと(夜間は1時間ごと)に運行しています。大人一人の料金は2.70ドルで、所要時間は約35分です。バスはターミナルのすぐ目の前から出ています。

シャトルサービス 5ドル 所要 約40分
空港からクライストチャーチ市内へのシャトルの料金は約5ドルで、所要時間は約25分です。1台 80NZ\$

ダウントウン12:30 空港13:00

クライストチャーチ空港
QF4132 便 14:50
オークランド着 16:10

オークランド空港から YH まではバスまたはタクシーで行きます
13-14ドル、所要 約1時間



オークランド国際空港 Auckland International Airport

オークランド国際空港はニュージーランドでいちばん大きく最も発着便の多い空港です。ニュージーランドを訪問する海外からのほとんどの旅行者はこの空港に到着します。空港は、オークランド市内から南西に位置するマンガレトという地域にあります。

交通機関

タクシー

約45ドル 所要 約30分

シャトルサービス

約18ドル 所要 約40分

シャトルサービスは空港・市内間を移動する経済的な交通手段です。たいていは数人のほかの乗客と一緒に乗ります。市内への料金は18ドルから25ドルほどで、市街地にどれだけ近い場所まで行きたいのかによって料金が変わります。同じ場所へ行く2人もしくはそれ以上のグループは割引を受けることができます。市内への所要時間は、途中何箇所止まるかによって異なりますが、通常は40分から1時間かかります。

バス

13ドル (大人料金) 所要 約1時間

オークランド空港・市内間には「エアバス AirBus」が運行しています。このバスは昼間は20分ごとに、夜間は20分ごとに走っています。空港発の始発は午前6時20分、最終は午後10時となっています。

「エアバス」の大人料金は片道13ドル、または往復22ドルです。子ども料金(4才から14才)は片道6ドル、または往復12ドルです。バックパッカー・カードや国際学生証を持っている人は片道11ドル、または往復18ドルです。サーフボード、スノーボード、または自転車(専用の箱に入っているもののみ)を持って乗車する場合、6ドルの追加料金ががかかります。

Auckland City YHA - Auckland オークランド シティ YHA

Corner City Road and Liverpool
Street, Auckland,
North Island, New Zealand
電話: +64-9-309-2802
ファックス: +64-9-373-5083
e-mail: yhaauck@yha.org.nz



特徴: オークランド市の中心部、CBD(CENTRAL BUSINESS DISTRICT)、ビジネスの中心街)を見下ろす所に位置するオークランド シティ YHA は、以前ホテルとして使用されており、多くのツインルーム、ダブルルームと少数の4ベッドファミリールームがあります。

YHA内にあるピストロでは、お得なお値段でフレックファストやディナーを取ることができます。ピストロではグループのお客様用に特別メニューを組むこともできます。週末も休まず7日間毎日、NZ国内の旅行手配や、オークランドのアトラクションなどの手配をお手伝い。オークランド市のすばらしい景色を望める共有の休憩室に、スタッフが24時間常駐。

品揃えのよいショップ、自炊用キッチン、ランドリー、自転車やスーツケースなどを預かる安全な保管場所もあります。インターネット サービス、郵便転送サービス、NZ国内、海外ユースホステル予約サービスも承っています。

オークランドの見所: ニュージーランド最大の都市、オークランド、別名「シティ オブ セイルス、帆の街」では様々なカルチャー体験ができます。思い出に残るNZ旅行の出発点でありそして終点でもある玄関口、オークランドでは美しいハーバーやクルーズで行く島々、オークランドを一望できる火山の頂上、手入れの行き届いた公園や庭園、一味違った南太平洋の文化など見所がたくさん。

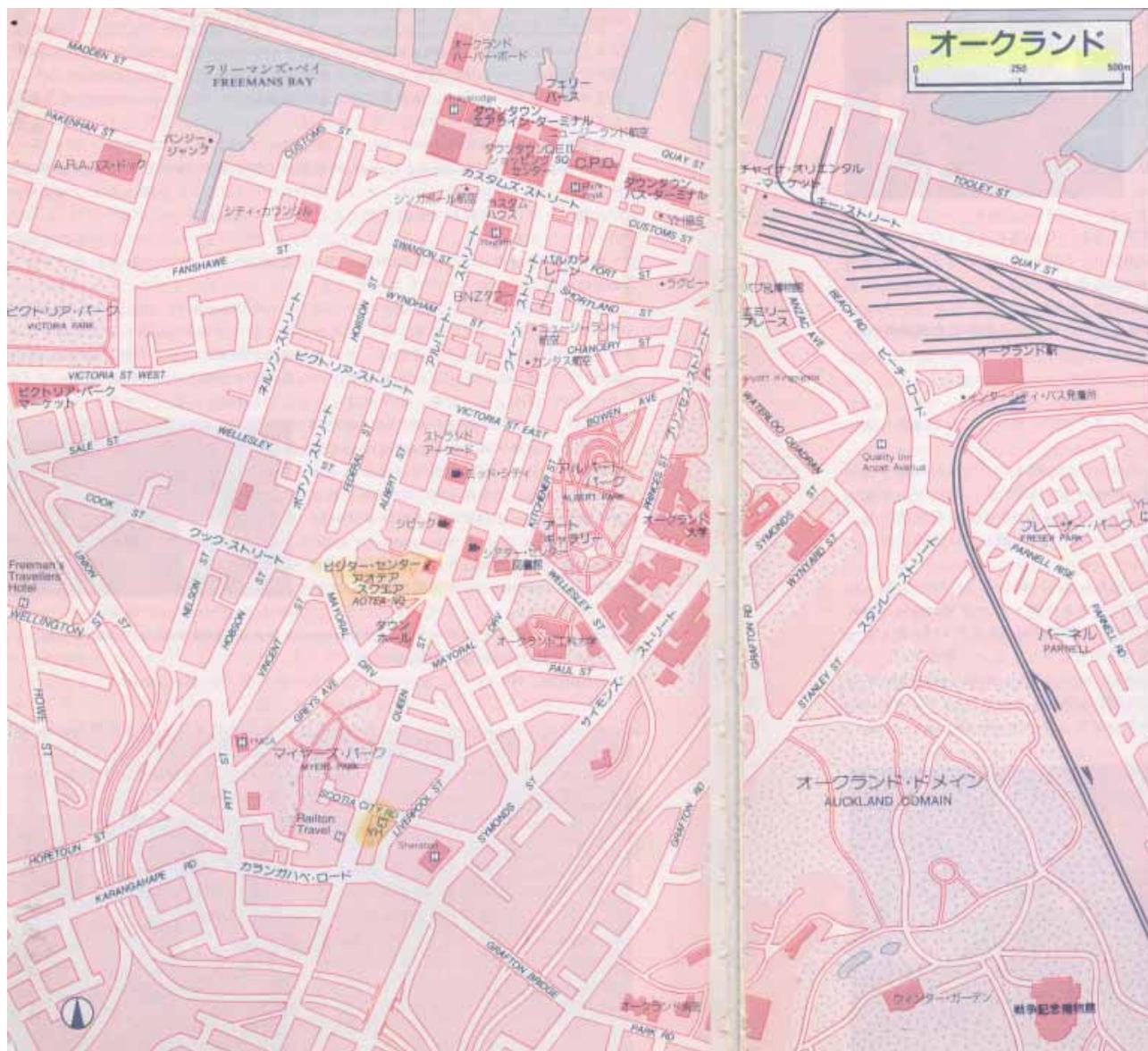
もちろん、劇場、パブやクラブ、おしゃれなカフェや大規模なカジノなどナイトライフも充実。静かに一杯飲みに行くか、賑やかなパブにくりだすか、ジャズを聞きに行くか、それとも夜風の心地よいナイトクルーズに出かけるか、いずれにしてもすばらしい夜を過ごせるはず。オークランドは帆の街の別名どおり、世界一、ヨットやボート所有率の高い都市。

部屋割り：夕食、朝食付き

- ・ ツインルーム ---- 北田夫妻
- ・ ツインルーム ---- 松村夫妻
- ・ ツインルーム ---- 久野、関
- ・ ツインルーム ---- 乾、小関
- ・ ツインルーム ---- 上田、今村
- ・ ツインルーム ---- 北村、元山
- ・ ツインルーム ---- 武藤、大竹
- ・ トリプルルーム --- 高橋、国府、千田

オークランドYHでは、夕食、朝食の2食付です。

夕食はYHで取ります。 夕食後はオークランドの街を散策しましょう。



12、2007.2.2（金） シャトルバス 7NZ\$

起床 4:30 朝食 5:00 (YHのレストランにて 予約済み) ユースホステル出発 5:30

オークランドYH オークランド空港 **シャトルバス7ドル 所要 約1時間** 7\$ / 一人

CX118 便 オークランド発 08:55 香港着 15:20

CX532 便 香港発 16:30 中部国際空港着 21:00

お疲れ様でした、気をつけて自宅までお帰り下さい

ニュージーランドの水道水は飲んでも安全ですか？

ニュージーランド各地の都市、町には、しっかりとした給水設備があり、安心して水道の水を飲むことができます。しかし、川や湖の水をそのまま飲む場合は、煮沸、化学薬品による消毒、または、浄水フィルターでろ過処理を行いましょう。

2007年ニュージージーランド・ミルフオーードトラック日程表

2006年10月20日 NPO法人ぎふ長良川走ろう会 武藤彰

2007.1.22(月)	集合時間：中朝国際空港発ロビー7時50分 CX533便 中朝国際空港発10:00 ⇒ 香港着13:35 CX117便 香港発15:35 ⇒ オークランド発07:40(翌日1/23火)
2007.1.23(火)	オークランド発07:40 GF4191便 オークランド発 11:15⇒ クイーンズタウン着13:05 クイーンズタウン・パインツックロッジ泊 48 Hamilton Road Queenstown, NZ TEL 03 442 8273 Fax 03 442 9470
2007.1.24(水)	ガバド付きウオーク 1日目 1km グレノバハウス泊
2007.1.25(木)	ガバド付きウオーク 2日目 18km 5〜7時間 ポンポローナロッジ泊
2007.1.26(金)	ガバド付きウオーク 3日目 15km 6〜8時間 クイーンズタウンロッジ泊
2007.1.27(土)	ガバド付きウオーク 4日目 21km 6〜8時間 ワイターピークロッジ泊
2007.1.28(日)	ガバド付きウオーク 5日目 ミルフオーード遊覧クルーズ クイーンズタウン・パインツックロッジ泊 48 Hamilton Road Queenstown, NZ TEL 03 442 8273 Fax 03 442 9470 クイーンズタウン散策
2007.1.29(月)	クイーンズタウンYH 8:20am ⇒ ワウンツックツクYHA 13:54pm 定期/バヌNM9552 ワウンツックツクYH泊 Cnr Bowen & Kitchener Drives, Mt Cook TEL: +64 3 435 1820 Fax: +64 3 435 1821
2007.1.30(火)	ワウンツックツクガバド付きウオーク3754mまで登頂 ワウンツックツクYH泊
2007.1.31(水)	ワウンツックツクYHA 13:55pm ⇒ クライストチャーチ6:45pm 定期/バヌNM9552 クライストチャーチシティセントラル・YHA泊(朝食付) 273 Manchester Street Christchurch, South Island, New Zealand TEL: +64-3-379-9535 FAX: +64-9-379-9537
2007.2.1(木)	午前中クライストチャーチ散策 GF4132便 クライストチャーチ発14:50 ⇒ オークランド着16:10 オークランドユースホステル泊(夕食、朝食付) Corner City Road and Liverpool Street, Auckland, North Island, New Zealand TEL: +64-9-309-2802 FAX: +64-9-373-5083
2007.2.2(金)	CX118便 オークランド発08:55 ⇒ 香港着15:20 CX532 香港発16:30 ⇒ 中朝国際空港着21:00

2007年ニュージージーランド・ミルフオーードトラック参加者名簿

No.	氏名	住所	電話番号	Eメール	所属
1	高橋 睦	〒501-1165 岐阜市西改田宮西5	058-239-2202/090-1099-5387		NPO法人ぎふ長良川走ろう会
2	国府 靖	〒514-0125 三重県津市大里窪田1 9 1 9	059-232-7511/090-2688-7035	koku-azero@ztv.ne.jp	NPO法人ぎふ長良川走ろう会
3	千田 虎峰	〒451 0071 名古屋西区鳥見町2-22-1 A-606	052-521-3492/090-2779-8780	k.sendai193@ybb.ne.jp	NPO法人ぎふ長良川走ろう会
4	大竹 正幸	〒504-0003 岐阜県各務原市尾崎南町6-28	0583-83-8613/090-1101-6218	qane8u99@happytown.ocn.ne.jp	洋友会
5	北田 良夫	〒501-0512 岐阜県揖斐郡大野町上秋950-30	0585-32-1146/090-4855-7673	ykitada@satur.nannet.ne.jp	洋友会
6	北田 和子	同上			洋友会
7	松村 勝敏	〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡俣538	0584-69-4081	matsumura4081@ybb.ne.jp	洋友会
8	松村 澄江	同上	0584-69-4081		洋友会
9	武藤 彰	〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島5-70	058-392-8734/090-9176-5311	mutu_tohox@ybb.ne.jp	NPO法人ぎふ長良川走ろう会
10	久野 菊子	〒502-0071 岐阜市長良132-1ダイヤパルス岐阜長良602	058-295-7062	kikuichige@nifty.com	ぎふ百山登る会
11	乾 百里子	〒606-8075 京都市左京区修学院坪江町40-4	075-724-0580/090-5861-1968	inu12003@m2.dion.ne.jp	白山・室堂会
12	小関 典子	〒610-1141 京都市西京区大枝西新林町5-9-10	075-331-2575		白山・室堂会
13	関 秀子	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南2-8-28	058-246-8048/090-1781-1726		NPO法人ぎふ長良川走ろう会
14	元山 紀	〒501-0236 岐阜県瑞穂市本田1552-214	058-327-0194/090-3589-8468	omotoyama@keibidobe.ne.jp	洋友会
15	北村 宗弘	〒501-6217 岐阜県羽島市正木町須賀小松24	058-392-7798		洋友会
16	今村 三千代	〒502-0903 岐阜市美島町2-2	058-231-7536/090-3453-2734	m.imamura-8@mk750@ezweb.ne.jp	洋友会
17	上田 千衣子	〒502-0849 岐阜市栄新町2-58 アメニテイ栄新町Ⅱ402	058-297-4102/090-4083-4481		

ニュージーランドでは、レストランやバーでも、通常のサービスにチップを渡す習慣はありません。しかし、特別なサービスを受けた場合や特に親切にしてもらった場合に、チップを用意するのは個人の判断に任されています。またホテルやレストランの請求にサービス料は含まれていません。

ニュージーランドの基礎知識

人口 403万人 (2004年)
 GDP 800億ドル (2004年)
 政策金利 7.00% (OCR)
 格付け AAA (S&P長期)
 正式名称：ニュージーランド / 首都：ウェリントン
 英語表記：New Zealand
 総面積：27.5万平方キロメートル (日本の約3/4)
 公用語：英語

ニュージーランドの文化

ニュージーランドは、ユニークでダイナミックな文化で知られています。先住民マオリの文化は、言語、芸術だけでなく、ニュージーランド人のアクセントにも影響を与えています。南太平洋に位置し、アウトドア好き、スポーツや芸術を愛するニュージーランド人の持つ文化は他国と比べても独特であることがわかります。

ニュージーランドで旅行中に購入する一般的な品目について、料金の目安を提示しています。 およそ

ホテルの朝食 NZ\$10- \$25	夕食(3コース、ワイン除く) NZ\$20 - \$50
ランチ スナック / サンドイッチ NZ\$5 - \$10	カフェでのランチ NZ\$10 - \$15.00
海外へ郵送するハガキの切手代 NZ\$1.50	ビッグマック ハンバーガー NZ\$3.95
カプチーノ一杯 NZ\$2.50 - \$3	コダックフィルム 36枚撮り NZ\$7.95

[ニュージーランドから日本へ電話をする場合]

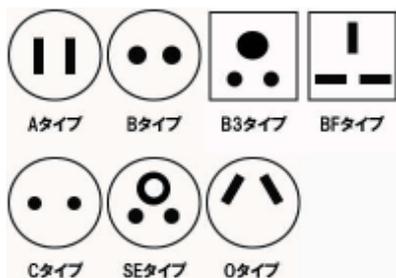
00(国際電話接続番号)+ 81(日本の国番号)+ 電話番号(市外局番の最初の「0」をとる)

[日本からニュージーランドへ電話をする場合]

001、0033、0041、0061など(いずれかを選択します。マイライン登録者は不要) + 010(国際電話接続番号) + 64(ニュージーランドの国番号) + 電話番号(市外局番の最初の「0」をとる)

国際電話接続番号...011(KDDI)、0033(NTT コミュニケーションズ)、0041・0061(日本テレコム)

電圧は230、240ボルト、50ヘルツです。コンセントプラグの形は0タイプです。日本の電化製品を使用する場合は変圧器とアダプターが必要です。



ニュージーランドの歴史

ニュージーランドは歴史の浅い国ですが、マオリとヨーロッパの伝統や文化を反映する、魅力溢れる豊かな歴史を持つ国です。マオリゆかりの地や、先祖伝来の「タオンガ taonga(宝物)」は、現在も保存され、中には1000年も前に遡るものも見られます。植民地時代の優雅な建物も多く残っており、マオリ文化とヨーロッパ文化の対比を目にすることができます。各都市を見て回れば、ニュージーランドが、二つの文化それぞれを尊重し合い、共存し、独自の文化を築いてきた国であることが分かるでしょう。

世界で最も美しい散歩道

登山家 田部井 淳子



あすへの話題

「世界で最も美しい散歩道」といわれるミルフォードトラックはニュージーランド南島のタスマン海に面した地域にある。人の手が加えられてない山ブナ、銀ブナの原生林にはサルオガセが下がりシタが生い繁る。自然倒木は昔でおおわれ太古の姿を想わせる自然道を三泊四日で五十四時歩く。一日の入山人口は最大四十八人。これはガイドと共に歩く人数で、ガイドなしの人数も小屋施設の関係で四十人と制限されている。彼らはガイド付の山小屋とは別の小屋を利用する。ガスは使えるが寝袋、食糧一切を自分で運ぶ。体力のある若者たちが好む歩き方で料金も格段に安い。森の中の道は一方通行で反対側から来る人とは決して出会わない。鳥の声やせせらぎ、森の木々をわたる風の音、サワサワと揺れるシタの葉の音を全身に浴びながら安心して歩ける太古の森の道だ。こんな散歩道を日本の森でも実現できたらよいなと思う。

現下月下旬このトラックを平均年齢六十五歳の女性ばかり十七人で歩いてきた。入山前この地域を独占管理している事務所で行う説明会に参加した。責任者のスタッフが私たちを見て「オー、ホエア、ア、ユア、ハズバンド?」と肩をすくめた。「ウィー、レフト、ゼム、イン、ジャパン」と答えると大声で笑ったが年配の女性ばかりが十人以上の集団で旅するのは海外では珍しいらしい。同じ日に入山したのは三十九人で米英豪からのほとんどがペアであった。週四日は雨が降るといわれるが山小屋はホテル並みで、シャワー、バー、ベッド付でフルコースが出る。二十二歳の若者と二十三歳の女性ガイドと日本語ガイド三人と共にオハさん集団は全員完歩してきた。

ニュージーランド

南太平洋に浮かぶ自然豊かな島国。キウイなど固有の動植物が多様な生態系を形成。世界有数の羊毛、酪農王国として知られており、羊の数は人口よりも多い。スポーツも盛んで、特にラグビーやヨットの分野では世界有数のプレーヤーを数多く輩出。

ニュージーランドは1年のどの季節に訪れても素晴らしい体験ができます。美しい森、固有種の動植物や数多くのアウトドア・アクティビティなどその魅力は尽きることはありません。またニュージーランドは異文化が融合された国であり、フレンドリーでホスピタリティ溢れるキーウィ(ニュージーランド人の愛称)が旅行者を歓迎します。日常の生活から離れ、リフレッシュの旅にでかけましょう。そして訪れた土地の風景、文化、そして空気を全身で味わってください！

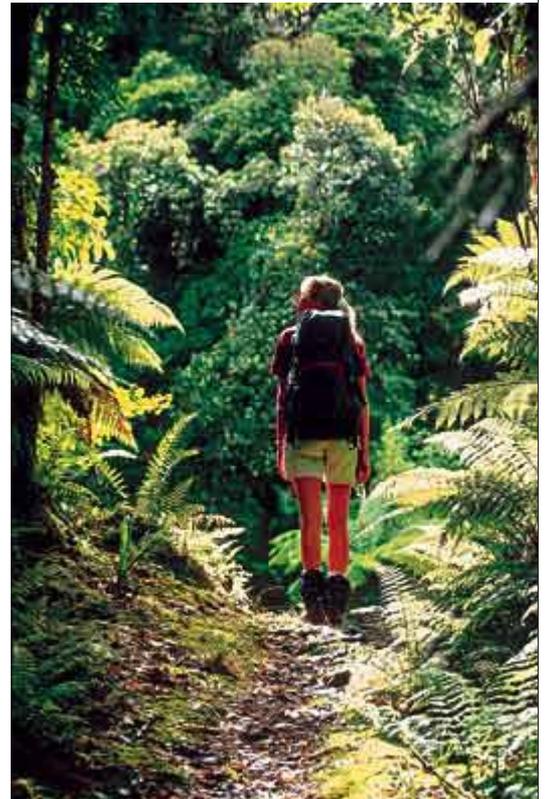
憧れのトレッキングルート - ミルフォード、ホリフォード、ルートバーン、ケプラー

大自然との触れ合いを楽しむトレッキング世界一美しい散歩道として知られる全行程53.9kmのミルフォード・トラック(Milford Track)は、氷河に侵食されてできたいくつもの谷に沿って進んでいます。

途中1ヶ所で峠越えがあり、ジグザグの山道をたどりながら、素晴らしい眺望を楽しむことができます。

このルートの所要は4日間、行程の前後にはボートでの移動があります。ガイド付きでも、個人でも歩くことができます。ホリフォード・トラック(Hollyford Track)は全行程80km、ダレン山脈の切り立った岩壁から、タスマン海に面したマーティンズ・ベイの砂丘へと抜けるルートです。フィヨルドランドの奥深い森の静けさや、ホリフォード川の力強い流れ、砂が風に吹きさらされるマーティンズ・ベイの美しさが満喫できます。ガイド付きでも、個人でも歩くことができます。全行程39kmのルートバーン・トラック(Routeburn Track)は、サザンアルプスの東西を分ける分水嶺から歩き始め、クィーンズタウンから約80kmの地点にあるブナの森林で終わります。所要3~4日間のこのルートでは、壮大な山岳風景や数々の湖、表情の異なるいくつもの森林などの風景が楽しめます。ガイド付きでも、個人でも歩くことができます。

ケプラー・トラック(Kepler Track)は全行程67km、テ・アナウ湖を起点とし、同じ地点に戻ってくる周回コースです。サザンアルプスの素晴らしい眺めはもちろん、湖の輪郭やブナの森、切り立った山々の頂、氷河の残した谷の数々が見られます。個人でのトレッキングのみで、ガイド付きのツアーはありません。

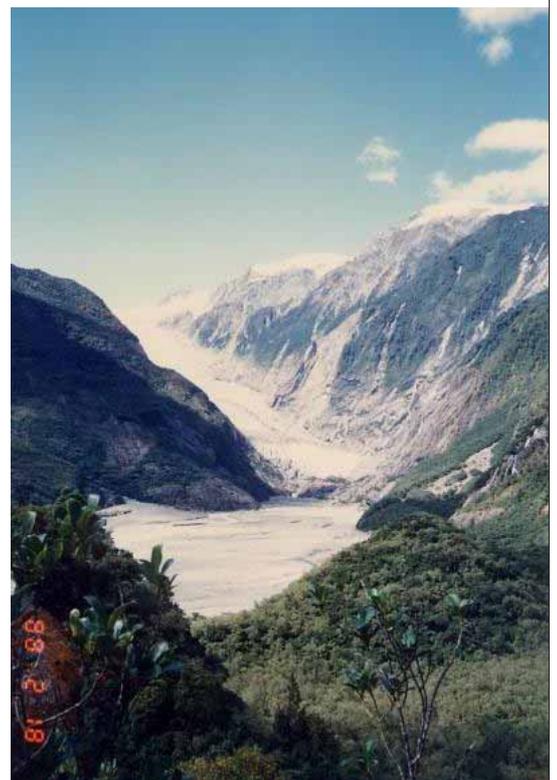


アオラキ/マウントクック国立公園

氷と岩の幻想的な世界 - アオラキ/マウント・クック国立公園息を呑むような美しい山岳風景で知られるアオラキ/マウント・クック国立公園(Aoraki/Mount Cook National Park)は、40%が氷河で覆われています。3000メートルを越える山頂が19を数えるこの国立公園内には、ニュージーランドの最高峰、アオラキ(Aoraki)の別名でも知られるマウント・クック(Mount Cook)があります。また、アオラキ/マウント・クック国立公園は、南島南西部の4つの国立公園を合わせた「テ・ワヒポナム(Te Wahipounamu)」と呼ばれるサウス・ウエストランド世界遺産指定地域(South Westland World Heritage Area)の一部を成しています。

数少ない手付かずの大自然が残っているこの指定地域は、世界的にも貴重なものです。トワイゼル(Twizel)からプカキ湖沿いを走り、国立公園へと抜ける舗装道路の終わり、フッカー(Hooker)氷河とミュラー(Mueller)氷河の末端に、アオラキ/マウント・クック・ビレッジがあります。

トレッキングなどアクティビティの拠点となるマウント・クック・ビレッジには、バックパッカー用の宿や豪華なホテルなど、宿泊施設があります。国立公園内には17の山小屋が点在していますが、そのほとんどは本格的な山岳登山用のためにあり、登山技術が必要な場所に位置しています。



入国カードは、機内にて配布されます。到着前に記入を済ませましょう。
また、記入のための筆記用具は予めご自身でご用意ください。

< 記入にあたって >

- * 英語の大文字で記入してください。
- * 選択箇所は、該当のところに印を付けてください。
- * 表・裏両面を記入した後、切り取り線に沿って切り離してください。
- * 以下の 記入例は観光の目的で入国される通常の旅行者を対象としています。

入国カード記入例 (表)

NEW ZEALAND PASSENGER ARRIVAL CARD

1 flight number/ name of ship 搭乗便名
passport number パスポート番号
nationality as shown on passport 国籍
family name 姓
given or first names 名
生年月日 day 日 month 月 year 年
occupation or job 職業
full contact or residential address in New Zealand ニューゼalandでの住所 (初めに泊まるホテル)
country you were born in 自分が生まれた国
overseas port where you boarded THIS aircraft / ship 到着便に搭乗した空港

2a Answer this section if you live in New Zealand. Otherwise go to 2b.
How long have you been away from New Zealand? years months days
Which country did you spend most time in while overseas?
What was the MAIN reason for your trip? business education/medical other
Which country will you mostly live in for the next 12 months? NZ other

2b Answer this section if you DO NOT live in New Zealand.
How long do you intend to stay in New Zealand? 滞在予定日数 permanently or 年 月 日
If you are not staying permanently what is your MAIN reason for coming to New Zealand? visiting friends or relatives business holiday/vacation conference/convention education/medical other
Where did you last live for 12 months or more? 過去12ヶ月またはそれ以上住んでいた国
state, province or prefecture 都道府県 zip or postal code 郵便番号

Please turn over for more questions and to sign

- * 番号 1 から 8 までを記入して下さい。
- 旅行者、一次入国者は 2 b に記入し、2 a は記入不要です。
- 入国カード記入例 (裏)

3 Did you pack your own bags? See the Biosecurity notes. Are you bringing into New Zealand: food of any kind? animals or animal products? plants or plant products? other risk items? In the past 30 days, while outside of New Zealand, have you been: in contact with any animals? to a farm, abattoir or meat packing house? in a forest or hiking, camping, hunting in rural areas or parkland? List below all countries you have been in, in the past 30 days.

4 Are you bringing into New Zealand: goods that may be prohibited or restricted? goods over the personal concession for alcohol and tobacco products? goods over the NZ\$700 personal concession, or for business or commercial use, or carried on behalf of other persons? NZ\$10,000 or more, or the equivalent in foreign currency? New Zealand passport holders, go to 8. All Others apply for one of these: visitor's permit, exemption from holding a permit, student permit, limited purpose permit. You must leave New Zealand before expiry of your permit, or face removal.

5 Are you a New Zealand Citizen using a foreign passport? Do you hold a New Zealand Returning Resident's Visa? All others please answer this: Have you ever been sentenced to 12 months or more in prison, or been deported or removed from any country? I declare that the information I have given is true, correct and complete. signature 署名 (パスポートと同じもの) date 日

- * 番号 1 から 4 までを記入して下さい。
- 旅行者、一次入国者は 4 に記入し、3 は記入不要です。
- 出国カード記入例

1 flight number/ name of ship 搭乗便名
passport number パスポート番号
nationality as shown on passport 国籍
family name 姓
given or first names 名
生年月日 day 日 month 月 year 年
occupation or job 職業
full contact or residential address in NZ ニューゼalandでの住所 (初めに泊まったホテル)
country you were born in 自分が生まれた国
overseas port where you will leave THIS aircraft / ship 降機する空港

2 Which country will you next live in for 12 months or more? NZ or これから12ヶ月またはそれ以上住む予定の国

3 Answer these questions if you live in NZ, or lived in NZ until today. Otherwise, answer 4.
I have lived in NZ for: 12 months or more or less than 12 months
How long will you be away from NZ? permanently or 滞在日数 years months days
If you are not leaving permanently, what is the MAIN purpose of your trip? visiting friends or relatives business holiday/vacation conference/convention education/medical other
If you are NOT leaving permanently, which country will you spend most time in while overseas?

4 Visitor to NZ
On this visit I have been in New Zealand for a period of: years months days

5 I declare that the information I have given is true, correct and complete. signature 署名 (パスポートと同じもの) date of departure 出発日

April 2000 Please read the privacy statement on the other side before signing



